

新旧校舎をつなぐサーキュレーション



新旧校舎がつながることで学内の平面的な広がりやサーキュレーションが生まれ、教科の専門性や地域との関わりを横断する活動が育つことが期待されます。そして、コモロピロティや音楽ホールを見下ろす立体的な視線が交錯するような、常に他の生徒やその活動が視覚化される場所です。

生徒と地域が交わるコモロピロティ



半屋外空間のコモロピロティでは、天候に左右されずに室内では収まりきらないような活発な交流や活動、部活や授業での活用が見込まれます。また、地域連携協働室や音楽ホールとメディアセンターでのプログラムが溢れ出していくことで、さまざまな創造的な出会いの場所となることが期待されます。

既存を活かした改修



既存校舎を新しい学びのための最小限かつ効率的な改修を行う。南棟の普通教室では、廊下を積極的に生徒のコミュニケーションの場と捉え、教室に挟まれた小さなスペースをロッカーラウンジとして繋げます。積極的に教室の外へ出かけていく動機づけを行うとともに他クラスとの交流が促される設えとします。

多目的な利用ができる音楽ホール



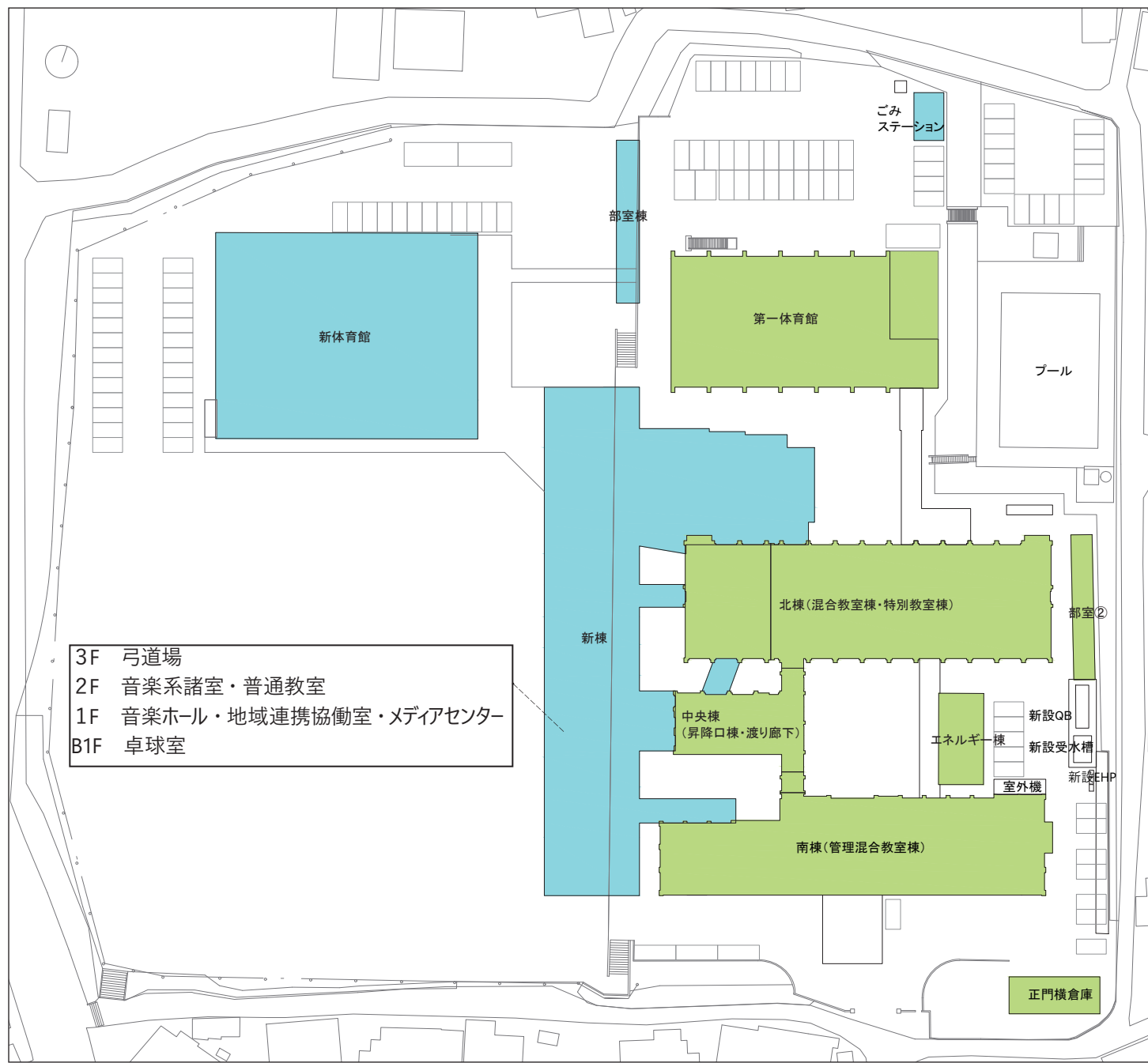
音楽ホールはコモロピロティに面しており、地域連携協働室やメディアセンターと連携しやすい位置に配置します。椅子の配置などを自由に変えることができるため、本格的な演奏会だけでなく、多目的な活用が期待されます。

配置計画

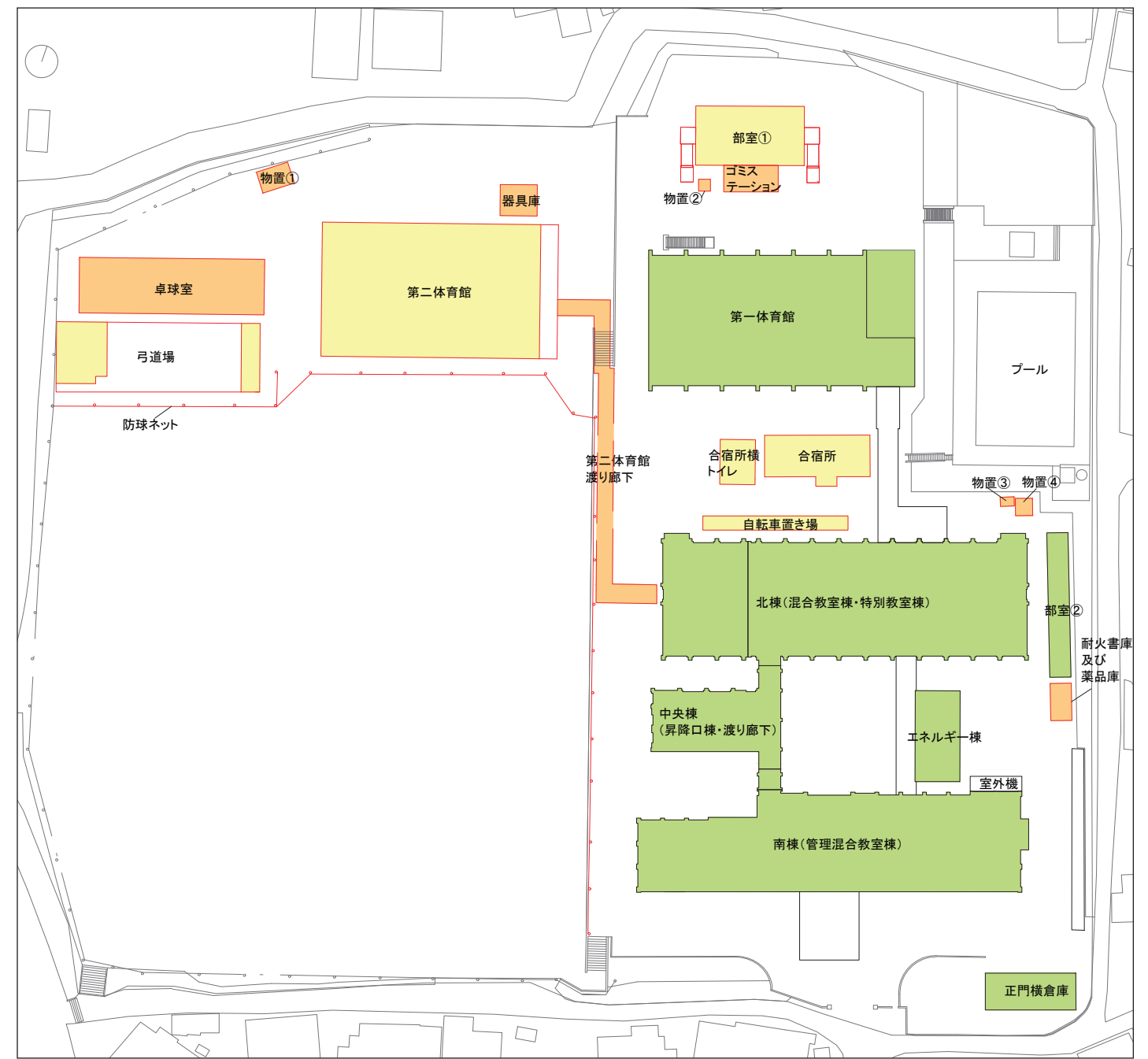
- 新棟
- 既存
- 除却 (図面なし)
- 除却 (図面あり)

東西に長い校舎が平行に並び既存校舎の西側妻面に、南北に長い新棟を配置することで、校舎内にサーキュレーションを生む計画とした。新棟はグランドレベルには卓球室、一階には音楽ホール・地域連携協働室・メディアセンター、2階に音楽系諸室を主に配置する。基本計画段階のワークショップによって、音楽ホールを第一体育館と北棟の間に配置する方針としたため、基本設計においては、音楽ホールと第一体育館間の騒音測定を行い、音響上十分対策が可能であることを確認した。新体育館・新部室棟はグラウンドの北側に配置し、新棟とはグランドレベル(B1Fレベル)とブリッジ(1Fレベル)で接続する計画とし、部活動や体育館関係の機能をまとめて配置した。新ゴミステーションは、ゴミ収集車の動線を考慮し、第一体育館北側に配置した。

棟名称	部室①	合宿所 横トイレ	合宿所	卓球室	第二体 育館	耐火書 庫及び薬 品庫	器具庫	弓道場	ゴミステ ーション	自転車 置き場	第二体 育館 渡り廊下	物置① ～④	防球ネッ ト
建設年	S60	S62	S63	H5	H2	H7	H7						
構造		S	S	S	S	S	S	S					
階数	2	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	
延床面積 [m ²]	342	34	235	288	839	20	30						
高さ [m]	約 8			5.51	11.85		4.08						
アスベスト調査	報告書 参照	報告書 参照	報告書 参照	報告書 参照	報告書 参照	-	報告書 参照	報告書 参照	-	-	-	-	-
図面	○	○	○	なし	○	なし	なし	○	なし	○	なし	なし	なし



配置図



除却予定建物

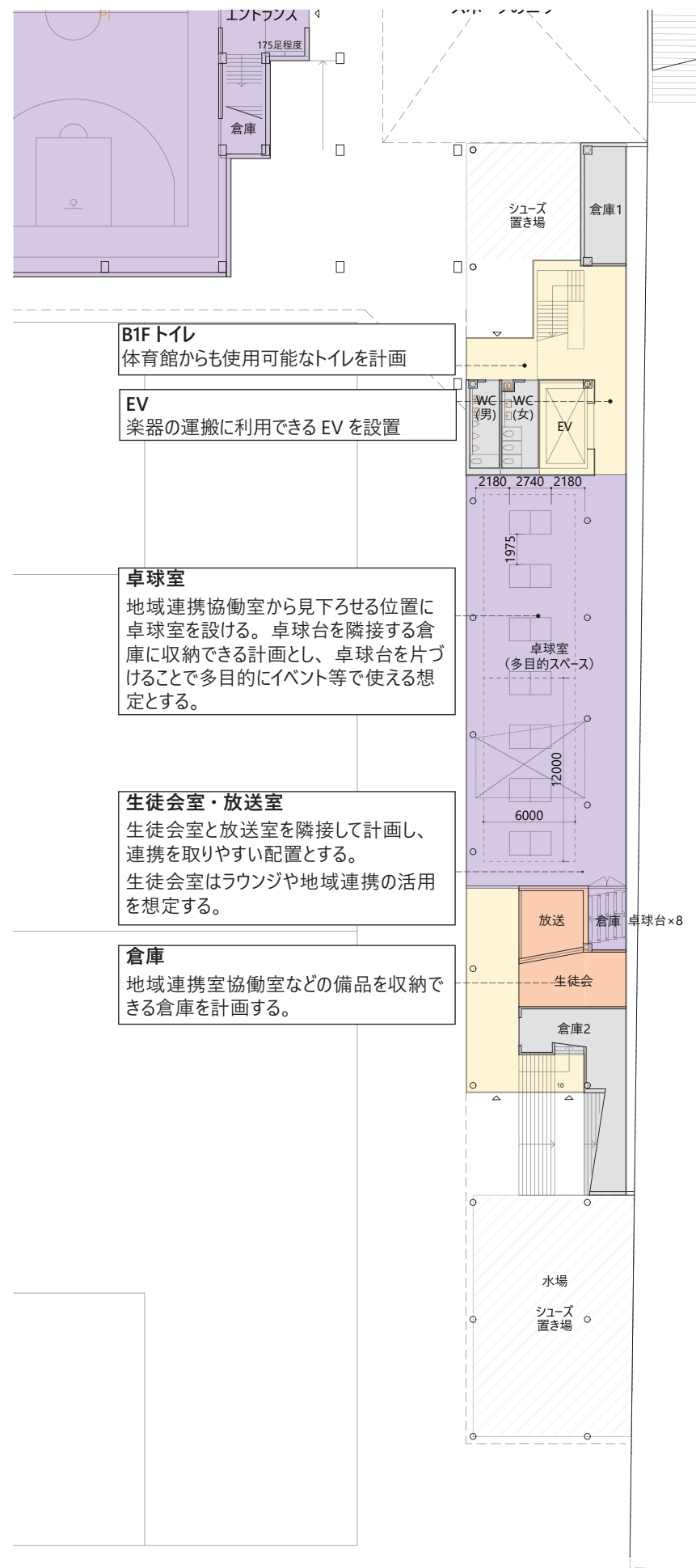
3F 弓道場
2F 音楽系諸室・普通教室
1F 音楽ホール・地域連携協働室・メディアセンター
B1F 卓球室

平面計画 (新棟・既存棟)

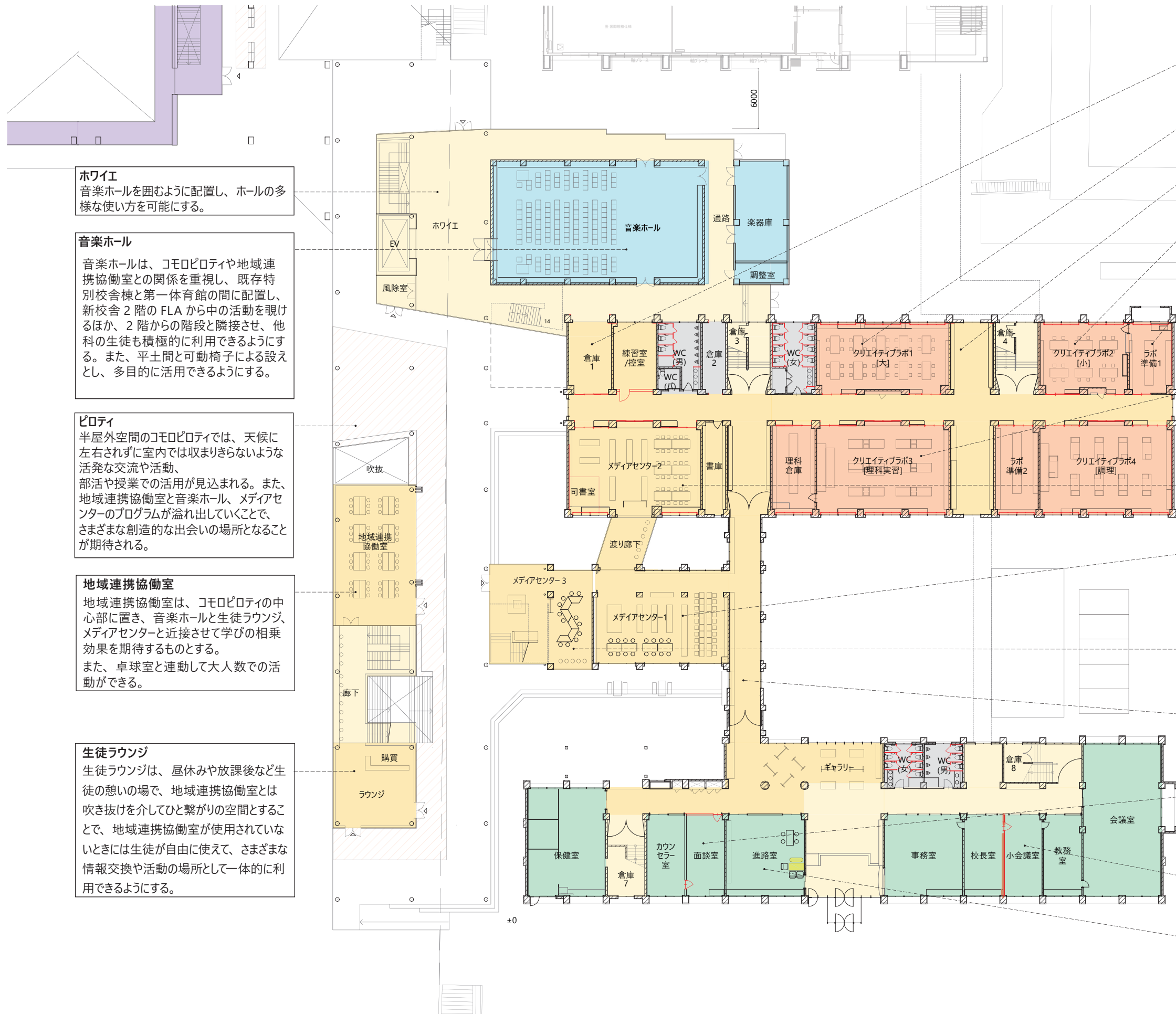
- 普通教室
- 管理
- 体育系
- 特別教室
- 廊下等
- 定時制教室
- 音楽系諸室
- 倉庫

小諸新校（仮称）施設整備基本設計
3. 建築計画

3-01



- 普通教室
- 管理
- 体育系
- 特別教室
- 廊下等
- 倉庫
- 音楽系諸室
- 定時制教室



ホワイエ
音楽ホールを囲むように配置し、ホールの多様な使い方を可能にする。

音楽ホール
音楽ホールは、コモロピロティや地域連携協働室との関係を重視し、既存特別校舎棟と第一体育館の間に配置し、新校舎2階のFLAから中の活動を覗けるほか、2階からの階段と隣接させ、他科の生徒も積極的に利用できるようにする。また、平土間と可動椅子による設えとし、多目的に活用できるようにする。

ピロティ
半屋外空間のコモロピロティでは、天候に左右されずに室内では収まりきらないような活発な交流や活動、部活や授業での活用が見込まれる。また、地域連携協働室と音楽ホール、メディアセンターのプログラムが溢れ出し、さまざまな創造的な出会いの場所となることが期待される。

地域連携協働室
地域連携協働室は、コモロピロティの中心部に置き、音楽ホールと生徒ラウンジ、メディアセンターと近接させて学びの相乗効果を期待するものとする。また、卓球室と連動して大人数での活動ができる。

生徒ラウンジ
生徒ラウンジは、昼休みや放課後など生徒の憩いの場で、地域連携協働室とは吹き抜けを介してひと繋りの空間とすることで、地域連携協働室が使用されていないときには生徒が自由に使用して、さまざまな情報交換や活動の場所として一体的に活用できるようにする。

倉庫 1
1Fで利用する椅子や什器を収納

クリエイティブラボ 1 [大]
40人規模で利用できる実習室美術・デザイン・書道等の授業で利用
実習でつくったもの展示できる棚を設置

クリエイティブラボ 2 [小]
20人強規模で利用できる実習室
美術・デザイン・書道等の授業で利用

ラボ準備 1
主にラボ1,2の準備スペース
将来的に3Dプリンタ等の設置もできるようにするか今後検討

クリエイティブラボ 3 [理科実習]
理科系の実習に利用できる教室
余剰の作業台を可動機に変更し柔軟性を向上

メディアセンター 2
本棚のほか40人規模での利用ができるデスクスペースを計画
メディアセンターの各エリアを見守りやすい場所に司書室を配置

メディアセンター 1
本棚や閲覧スペースのほか20人規模でPCの授業ができるスペース
調べ学習のほか地域住民向けのPC教室などでもできる

メディアセンター 3
小諸ピロティ側は新刊コーナーや可動機を配置しフレキシブルなスペースに
地域住民の立ち寄りも想定

メディアセンターまわりの廊下
メディアセンターの延長として本棚やベンチを計画

面談室
カウンセラー室に隣接して面談室を設置
生徒や保護者との面談に利用
(カウンセラー室側への出入口は今後検討)

小会議室
校長室を分割して小会議室に

進路室
進路指導に関わる教職員のスペース
来客対応や応接を想定

- 普通教室
- 管理
- 体育系
- 特別教室
- 廊下等
- 倉庫
- 音楽系諸室
- 定時制教室



音楽室 1
音響的に独立した性能を確保するため、新棟の北端に配置している。音楽科以外の生徒も、新棟を通してアクセスすることになり、3科の交流の活性化を図る。楽器収納用の倉庫を併設する。音響上の理由から天井高を高くし、上部にはハイサイドライトを設ける。

音楽ホールを見下ろせるような窓を設け、近接して1Fに降りれる階段を設ける。

ソルフェージュ室、練習室
音楽科の練習や授業に必要な個室群は中廊下型の配置とし面積効率を高めつつ、各室の広さの違いや、フラッターエコーを防止するための傾斜壁を生かして、廊下に凹凸を生み出している。防音性が高いため、個人面談や会議室等としての利用も想定される。

新棟 FLA
ロッカーやテーブルを配置し、日常的な生徒の交流や、教室に収まりきらない活動の受け皿となる。

更衣室 / 休養室 (男)
廊下に対して手前側を更衣室としてロッカーを設置
奥側を男子休養室としてベッドを設置

小ラウンジ
給湯機能を充実させて1ヶ所に集約
休憩や談話もできる広さあり

印刷室
作業台が置ける印刷スペース

執務スペースの余剰スペースの余剰として仕切られたミーティングスペースにも教科ごとの資料を収納できるスペース

職員ラウンジ
フリーアドレスで執務ができたり、ミーティングができるスペース

スペース 5
執務スペースの余剰として仕切られたミーティングスペースにも

更衣室 / 休養室 (女)
水場を新設できる
南側を女性用とする

相談室兼レッスン室
先生コーナーを囲むように配置することで相談室にも利用できるレッスン室
新棟に揃えて音響面を考慮した間仕切り壁を計画

アクティブラーニングルーム兼音楽室 2
音楽室としての利用のほか遮音性を活用してアクティブラーニングでの活用も想定
校舎の中心にあることを活かして下階のメディアセンターや新棟とも連携をとりながら活用するスペース

FLA ロッカー
教室背面・廊下にある生徒用収納をロッカースペースに集約
既存ロッカーより大きくした上で各階6クラス分を確保できるように配置
掃除用ロッカーやゴミ箱もあわせてまとめる

サーキュレーションの要所に居場所+掲示機能

- | | | |
|--|--|--|
| 普通教室 | 管理 | 体育系 |
| 特別教室 | 廊下等 | 倉庫 |
| 音楽系諸室 | 定時制教室 | |



選択教室 [特大]
複数のクラスで同時に利用できる大きさの教室

選択教室 [大]
1クラスより大きな規模で利用できる大きさの教室

先生コーナー
定時制職員室に隣接して計画
定時制移管後も継続して利用できるように
全日制の先生の一時的な滞在スペースとしても想定

定時制 CR 兼選択教室 [小]
1クラスより小さな規模で利用できる大きさの教室
定時制での利用のほか、日中は全日制での利用も想定
廊下に対して建具をセットバックさせ廊下に余裕をもたせることで
そこでグループワークができたり、1人の先生が同時に2つの教室を見ながら授業することが可能

北棟各階の廊下
室の配置換えに伴い廊下も学習空間として利用できるように
間仕切りの「見える化」やベンチ等家具の配置を計画

FLA ロッカー
定時制 CR を選択教室と兼用しやすいように生徒用ロッカーは教室外に計画

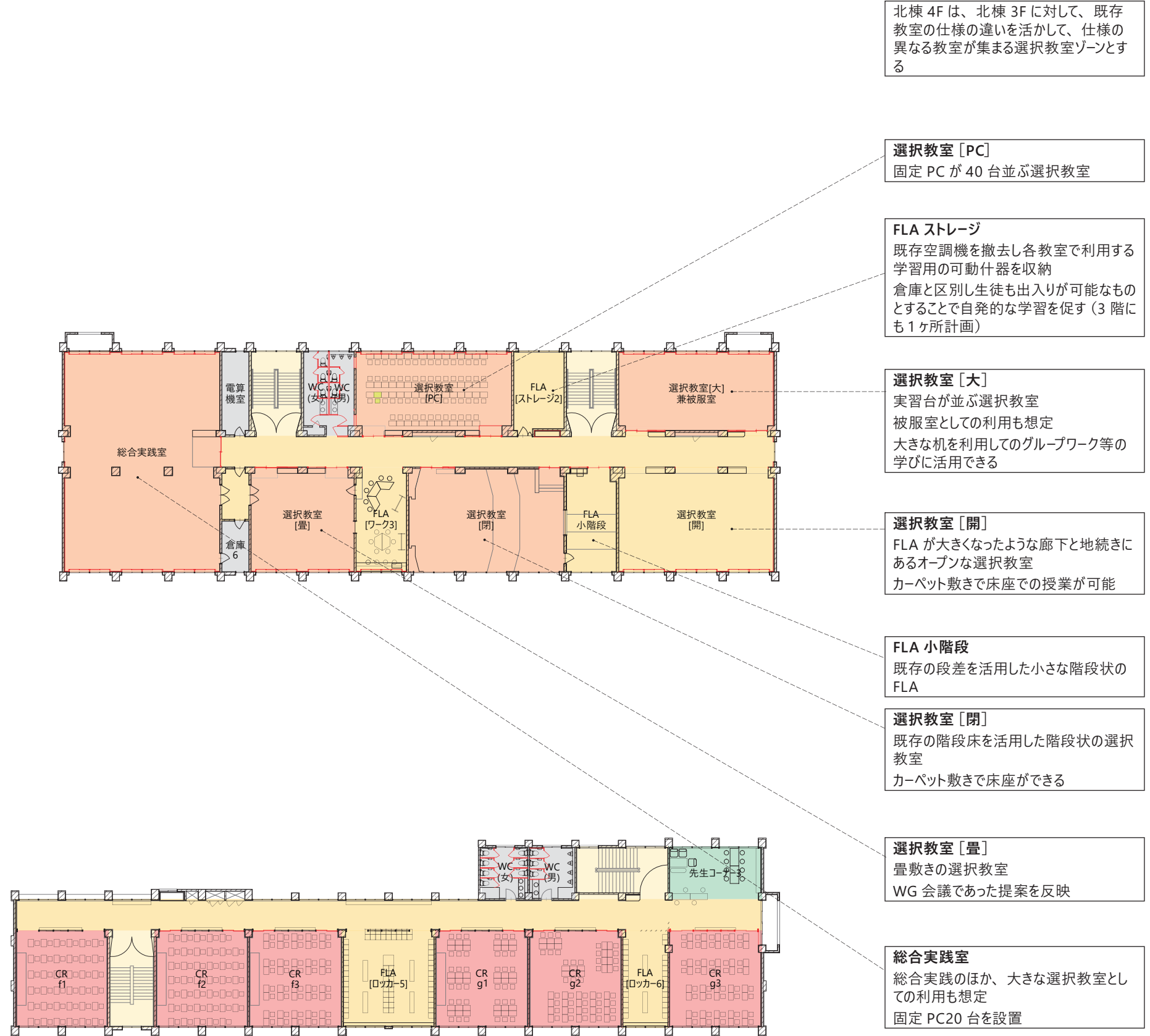
普通教室ゾーンの廊下
間仕切り建具の一部更新による教室の「見える化」
廊下側にコートや靴袋をかけられるコート掛けを設置
他科・他クラスと交流・談話を図ることができるベンチ等家具の設置

先生コーナー
先生が一時的に滞在できるスペース
見守りやすく/生徒も訪れやすいオープンなつくり

普通教室
背面ロッカーを撤去し教室背面をホワイトボードとすることで授業中の机の配置換えやグループワーク、投影等 IoT による学習に対応しやすいものとする

島状のものは2段としてカウンターとして使えるように

- | | | |
|--|--|--|
| 普通教室 | 管理 | 体育系 |
| 特別教室 | 廊下等 | 倉庫 |
| 音楽系諸室 | 定時制教室 | |



北棟 4F は、北棟 3F に対して、既存教室の仕様の違いを活かして、仕様の異なる教室が集まる選択教室ゾーンとする

選択教室 [PC]
固定 PC が 40 台並ぶ選択教室

FLA ストレージ
既存空調機を撤去し各教室で利用する学習用の可動什器を収納
倉庫と区別し生徒も出入りが可能なもの
とすることで自発的な学習を促す (3 階にも 1ヶ所計画)

選択教室 [大]
実習台が並ぶ選択教室
被服室としての利用も想定
大きな机を利用したのグループワーク等の
学びに活用できる

選択教室 [開]
FLA が大きくなったような廊下と地続きにあるオープンな選択教室
カーペット敷きで床座での授業が可能

FLA 小階段
既存の段差を活用した小さな階段状の FLA

選択教室 [閉]
既存の階段床を活用した階段状の選択教室
カーペット敷きで床座ができる

選択教室 [畳]
畳敷きの選択教室
WG 会議であった提案を反映

総合実践室
総合実践のほか、大きな選択教室としての利用も想定
固定 PC20 台を設置

平面計画 (新体育館・新部室棟)

- | | | |
|--|--|--|
| 普通教室 | 管理 | 体育系 |
| 特別教室 | 廊下等 | 倉庫 |
| 音楽系諸室 | 定時制教室 | |

